



ともまちくん

「共町ともまち」

たいら通信 創刊号

[発行元] 901-0212

豊見城市字平良188番地23

社会福祉法人まつみ福社会

桜山荘 「共に生きる町」たいら

[電話]098-996-4010

[fax]098-996-4011

発行日 平成26年10月26日

ご挨拶

社会福祉法人 まつみ福社会
理事長 松岡半七



このたび、多くの皆様方のご指導とご協力をいただき、『桜山荘「共に生きる町」たいら』を無事に開所することができました。関係各位に対しまして深く御礼申し上げます。

ここ、桜山荘「共に生きる町」

たいらは、
・複合施設「共に生きる町」

(平成二十年四月介護老人保健施設桜山荘に隣接して設置経営

豊見城市高嶺所在)

・桜山荘「共に生きる町」(こはぐら(平成二三年一月那覇市に進出して開所)

・桜山荘「共に生きる町」(たかみね(平成二五年四月豊見城団地A棟跡地に新築)

に続く四号館と位置付け、平成二六年十月一日よりスタートいたしました。当法人は、昭和五六年四月、もみじ保育園を開園することにより社会福祉事業の道を歩み始めました。設立三三年にして、そのもみじ保育園の

新館移転に伴い旧園舎を改修工事した再出発となりました。

ここでは高齢者を支える介護

保険事業として「桜山荘デイサービスセンター未来館」、

「桜山荘訪問介護センター」、

「桜山荘介護支援専門員センター」、

障がい者を支える障害福祉サービス事業として「ゲラジ

ョブセンター四号館 就労継続

支援A型」、自立訓練 豊

桜」、児童を支える児童福祉事

業として「さくらキッズ四号

館」、もみじ学童クラブ」

「くれよんはうす」を同一建物

内で運営します。高齢者、障が

い者、乳幼児・児童等の社会的

支援を必要とする人達が、同一

建物内でそれぞれのニーズに沿

ったサービスを受けながら、い

つも一緒に過ごすことによりな

じみの関係をつくりだします。

その関係を発展させることによ

り、相互に理解が深まり、さら

に相互に支え合うという環境づ

くりをめざしていきます。

国の施策では施設福祉から在宅福祉、さらには地域福祉と支援の方向性が移行しているところ。それにより認知症高齢者や障がい者が在宅において地域

で暮らすことが多くなります。しかし、まだ地域住民の認知症高齢者や障がい者に対する理解は十分とはいえない状況にあり、同じ地域内で共に暮らすことに支障があります。

桜山荘「共に生きる町」たいらでは、地域住民を対象とした有償ボランティアの募集、介護・支援・育児等に関する勉強会の開催や悩み事相談受付、各種サークル活動の開催を企画しています。要介護高齢者、障がい者、乳幼児・児童等が共に支え合い、足りない部分を職員と地域住民が支えるという共生ケアをここ平良の地で実現するために関係各位及び地域の皆様方のご指導ご協力をいただきますようお願い申しあげまして『桜山荘「共に生きる町」たいら』の開所及び『「共町」たいら通信』創刊号発行の挨拶とさせていただきます。



桜山荘「共に生きる町」たいら
職員一同

桜山荘「共に生きる町」

たいら事業経過報告

社会福祉法人まつみ福祉会
事務局長 山下 政広



桜山荘「共に生きる町」たいらの開所にあたり事業経過報告をいたします。

平成二六年十月一日、桜山荘「共に生きる町」たいら当該事業は、グループである松岡医院移転事業、もみじ保育園移転事業と連動する形で進めてまいりました。

まず、松岡医院が豊見城団地A棟跡地に新規に土地を取得し新築工事を終え平成二四年一月に移転いたしました。移転後、老朽化した松岡医院建物は解体撤去し、その土地はもみじ保育園が取得して新築工事竣工、その後、平成二六年四月に移転いたしました。残ったもみじ保育園旧園舎を改築し、今般無事に『桜山荘「共に生きる町」

たいら』に生まれ変わりました。

今、日本では高齢化率二五%を超え、今後三五年間にわたり、少子超高齢社会が進むと同時に人口減少時代に突入し求人難に直面しております。近い将来に認知症高齢者数八〇〇万人、不足する介護職員数二〇〇万人等が予測され、国債発行高はすでに一〇〇兆円を突破しているなか、マンパワー、財源の両面からの課題も多く、社会保障制度の抜本的な見直しのめどが全くつかない状況です。

高齢者や障がい者、児童等へのサービスでは機械化や効率化といった考えは人権を尊重するということが相反します。よって、介護サービスの質を確保するため多くの介護労働者が必要です。介護職が新3Kと呼ばれて久しくなりますが、国が定めた介護報酬額や利用者自己負担額が収入となる事業においては十分な給与を支給することが困難な状況です。国も事業所も「ない袖は振れない」状況

が新3K状態を脱却できないという悪循環となっています。

当法人は、これらの問題解決を図るために独自の理念である「共生ケア」に取り組んで六年が過ぎました。支援の手を多く必要とする要介護高齢者や障がい者といえども多くの能力を保持しておられます。しかし、その能力を活用することなく、一方的に職員から介護や支援されるだけでは、生きる喜びにはつながりません。高齢者、障がい者、児童等が同じ場所でごすことにより、自然と顔なじみになり、仲良くなり、持てる能力を活用し支援し合うようになります。そのような環境をつくるために職員が関わっていきます。人から「ありがとう」「助かりました」「上手ですね」など感謝されたり、褒められたりする機会が多くなると、気分がよくなり明るくなるとともに自信につながり、生きがいとなります。そうなるさらには何かをしたいと考えるようになります。考えて行動に移すことが継続することにより主体性が確立され

てきます。その主体性を育むよう高齢者、障がい者、児童等を支援することが私達の使命であると考えております。

「誰かに支えられていると安心です。そして誰かの支えになつていと幸せです。みんな支え合つて生きています。」

豊見城 平良の地でこの共生ケアの理念が実現するよう役職員一同努力する所存でございます。

関係者各位のご理解とご協力のほどお願い申し上げます。





本年十月一日に開設するにあたり、事業部長の拝命を受け、責任の重さに身が引き締まる思いです。今後とも、引き続き関係者各位のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、二〇一四年の六五歳以上の高齢者は前年に比べ百十一万増の三二九六万に至り、総人口に占める割合は二五・九%で、ほぼ四人に一人の計算になり、人数、割合とも過去最高を更新しました。今後とも高齢者は増加し二〇三五年には六五才以上が三人に一人、七五才以上が五人に一人の割合になります。当然ながら、認知症や他介護の必要な高齢者も増え、さまざまな問題が発生し、社会保障も膨らむばかりで、このつげは、現場または市民に直接影響します。

その様な課題を見据え、桜山荘「共に生きる町」たいらでは、利用者の主体性を引き出し、役割を持つことで生きがいを持ってもらえる仕組みづくりと、これからの地域福祉の在り方あるいは、社会福祉の理念であるノーマライゼーションに習い、高齢者も障がい者も乳幼児・児童も助け合って生活する姿を理念として掲げています。そして、桜山荘「共に生きる町」たいらに所属している職員がその理想像を追い求め、互いに協力しあい助け合って、働き甲斐のある明るい職場づくりを目指していく所存であります。

また、社会福祉法人の使命である社会貢献も視野に入れつつ、地域との連携も強化して、役割を果たします。まだまだ、微力ではありますが、お力添えの程お願い申し上げます。

高齢者・児童福祉サービス事業課 課長 吉田朝毅

平成十四年六月に桜山荘に就職し、早や十三年目になります。その間、介護職員・支援相談員・通所介護の生活相談員・介護支援専門員を経て、今回「共に生きる町」たいらで、勤務することになり、プレッシャーややりがいを感じながらも、共生ケアに関われることを大変楽しみにしております。私たちは、共生ケアの理念に基づき、利用者様の主体性を引き出し、本当に自分でやりたいことや、やってみたいことが実現でき、皆で楽しみが共有できるような事業所を目指していきたいと思っております。それはあくまでも押しつけないサービスではなく、皆でやりたいことをやってみる。やってみたいことが実現でき、さらに皆様のやりがいや生きがいに繋がっていきけるような事業所を実現していきたいと思っております。

今までの経験を活かし、皆様のご要望に応えられと共に、皆様と一緒に良いものを作り上げていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

介護サービス事業課 課長 吉澤常子

多くのマシンをそろえ、介護予防のセンターとして運動機能向上に取り組んできた未来館。移転に伴い、これまでの歩行能力、筋力向上に加え「おもてなし・お世話」の介護から、少し方向転換し、公助↓共助↓自助に向かって利用者が主体となったプログラムを作っていくしたいと思います。

家で一人、何の気兼ねもなくテレビを見たりするのもさぞ、ゆったりするでしょう。でも多くの人々との交流で社会参加し、体を動かしたり、笑ったりするのも最高ですよ。

「動くことは生きる事」「心が動けば体が動く」寂しさの症状のある方はぜひデイサービス未来館へいらしてください。

「あこがれ」

事務 課長 當間美智子

全ての人々が支え合い主役でいられる共生ケアを理念に掲げ、いよいよ桜山荘「共に生きる町」たいらがオープンいたしました。

当施設では介護が必要な方、障害をお持ちの方、高齢の方、子どもたち、地域の皆様、幅広い世代が、お互いにふれあい支えあう共存の気持ちを大事にして、心身とも元気になれるよう皆様に寄り添ってまいります。施設内各事業所が連携し、専門性の高いスタッフ、各職員がそれぞれの立場で役割を果たし利用者様やご家族のサポートに努めてまいりますので、桜山荘「共に生きる町」たいらに皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

職員うち揃って、御万人に尽くす 心 抱り所 またんいもり

職員が丸ごと、地域社会に貢献します
心のよりどころとして、またも越えてくださいお待ちしております

障害福祉サービス事業課 課長 武内睦幸

障がい福祉サービス課の課長に命ぜられました武内と申します。障がい福祉サービス課には、就労継続支援A型ゲラジョブセンター4号館、自立訓練 豊桜、児童デイサービス さくらキッズ4号館、親と子の支援センターくれよんはうすの4事業所があり、幅広い年齢層の方々が利用されています。

障がいをお持ちの方やそのご家族のご意見を積極的に取り入れながら、知人・友人の方々にも紹介したいと思っただけのような事業所、地域に開かれた事業所を目指し、全力を尽くす決意であります。

正直、責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯ではあります。と同時に、私にそのような大任が務まるのか不安を感じております。ですが、選任されました上は誠心誠意努めてまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





桜山荘 「共に生きる町」たいら

事業所紹介じゃよ



桜山荘介護支援 専門員センター

好田さん

TEL:098-840-2222

所属有資格者：ケアマネジャー

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険利用のための必要な手続き・サポートを行います。介護保険・要介護認定・ケアプラン・介護用品・住宅改修のことなど、何でもご相談に応じます。



桜山荘介護支援 センター豊見城

比嘉さん

TEL:098-840-5888

所属有資格者：介護福祉士、ヘルパー2級等

要介護者や障がい者等介護が必要な方のご自宅にヘルパーを派遣し、生活に必要な家事援助を含む生活援助や入浴・排泄介助等の身体介護の在宅支援を行います。また、介護相談もお引き受け致します。



桜山荘デイサービス センター未来館

えー子さん

TEL:098-840-2005

所属有資格者：介護福祉士、看護師、あん摩マッサージ師

今後も状態が悪くならない為の機能訓練を継続的にを行います。また多様な活動を子供達と一緒にやり世代を超えた、お互いの刺激となるような共生ケアを行っていきます。



就労継続支援A型 グラジョブ センター4号館

大城さん

TEL:098-996-4012

所属有資格者：社会福祉士、精神保健福祉士、

職業指導員、生活支援員

利用者を雇用して就労の機会を提供するとともに、その知識及び能力の向上の為に必要な訓練を適切かつ効果的に行います。



児童デイサービス さくらキッズ4号館

まるおくん

TEL:098-996-4013

所属有資格者：臨床心理士、保育士、指導員

障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。



自立訓練 豊桜

金城さん

TEL:098-996-2530

所属有資格者：作業療法士、看護師、生活支援員

地域生活を営む上で、身体機能・生活能力の維持・向上等のため、一定期間の訓練を行っていきます。作業療法士が配置され、個別のリハビリの対応を行っています。



親と子の支援センター くれよんはうす

上原さん

TEL:098-996-2517

所属有資格者：臨床心理士、保育士、言語聴覚士、

精神保健福祉士などの専門員

市内在住の、発達の気になる子と保護者を対象に、小集団での遊びや個別支援を通して、親子の関わり方や、子どもの運動面・言葉の面の発達のお手伝いをします。



もみじ学童クラブ

りおくん

TEL:098-996-4014

所属有資格者：小学校教諭、児童厚生員

日中が、留守家庭で保育できない保護者に代わり、児童の保育を行うとともに、児童の健全育成の向上を目的とした子育て支援の施設です。